

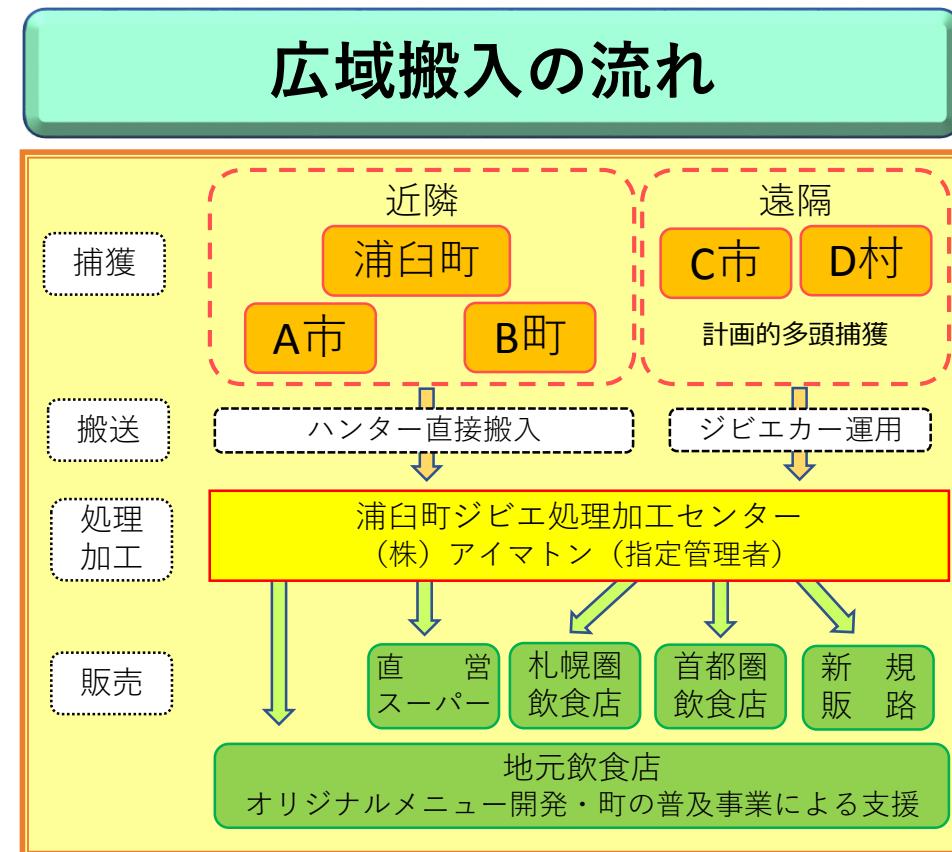
モデル地区の構想

- ジビエカーを活用するなどにより、広域での連携・搬入を行い捕獲個体の安定供給を図るとともに、民間事業者が食肉の処理・販売を行う事で様々なニーズに柔軟に対応。

特徴的な取組

- 中空知地区内に食肉処理加工施設の設置がなく、捕獲された個体が食肉として流通することがなかったため、施設の整備を行った。（H28年度の捕獲頭数は3,890頭で処理頭数は0頭）
- 地区内が広域のため、移動式解体処理車（ジビエカー）を2台整備し、それらを活用しながら近隣自治体で捕獲された個体の回収・一時処理を行う。
- 浦臼町内からの捕獲搬入だけでは頭数が少ないため（H28年度の浦臼町内の捕獲頭数は20頭）、近隣自治体からも搬入を受け入れ、処理頭数を確保。（近隣自治体からの搬入を含め、800頭の処理を予定）
- 北海道内でのジビエを含む食肉処理実績及び道内外に既存の多様な販路を有する（株）アイマトンが指定管理者として参画。

モデル地区の各体制



捕獲

搬送・集荷

処理加工

販売

体制

- ハンターの事前登録制を採用
- 捕獲の留意事項や個体の衛生的取扱いに関する説明会受講者のみを対象
- 22市町村から145名が登録（R2年10月末時点）

- 捕獲者は説明会等で習得した衛生的な取扱いを実践して搬入。
- 2時間以内の搬入が困難な場合は、施設従業員が移動式解体処理車で集荷。

- 浦臼町の処理加工施設で枝肉に一次処理及び二次処理。
- 捕獲後2時間以内に搬入された個体のみを食用に活用。
- 他の地域で捕獲・一次処理された個体も併せて二次処理

- （株）アイマトンにおいて、一括した在庫調整・加工・販売
- 今後、浦臼町内飲食店での独自ジビエメニュー開発及び町事業による普及啓発事業を展開。

メリット

- 浦臼町内だけでなく近隣自治体に捕獲範囲を拡げることで、安定的かつ大量に捕獲頭数を確保できる。
- 事前登録制としたことで、搬入時のトラブルを回避。

- 原則、ハンターが搬入するため、処理加工施設の負担が軽く、処理能力が向上。
- 移動式解体処理車による集荷も行うため、広域での集荷が可能。

- 事前登録者が搬入するため、衛生的かつ高品質の個体のみを処理
- ジビエ取扱実績を有する食肉処理加工業者である（株）アイマトンが、これまでの経験を踏まえ処理加工を行うことにより、均一な品質の製品の供給が可能。

- （株）アイマトンによる一括した在庫管理・加工・販売により、大口から小口需要への対応や加工品製造が可能。
- インターネットや直営スーパーにおいて消費者へ直接販売することにより、安価な価格で供給が可能。
- 特産品であるワインとジビエメニューのコラボによる町おこしの展開が期待。

プレイヤー

- 北海道猟友会ほか狩猟団体所属の狩猟者
- 浦臼町（事前登録手続）

- 北海道猟友会ほか狩猟団体所属の狩猟者
- （株）アイマトン

- （株）アイマトン

- （株）アイマトン
- 浦臼町内小売店・飲食業
- 浦臼町

ジビエ利用モデル地区「北海道（浦臼町）」の取組概要②

コンソーシアム名

ジビエ・de・そらち

コンソーシアム構成員

- 浦臼町〔代表、事務局〕
- 処理加工施設
浦臼町ジビエ加工処理センター（現：北海道シュヴルイユ浦臼工場）
- （株）アイマトン
- （一社）北海道猟友会美唄支部浦臼部会
- 北海道庁

ジビエ倍増モデル整備事業取組内容

整備事業

取組内容

食肉処理加工施設等の整備

推進事業

取組内容

推進体制の整備

ジビエビジネスの展開に向けた地域の取組

ICTによる情報管理の効率化